



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
 コード番号 2883 URL http://www.dai-rei.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 修
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,820	△1.5	611	1.1	616	1.0	417	3.0
28年3月期第2四半期	14,029	2.4	604	△33.2	609	△32.8	405	△37.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第2四半期	69.49		—					
28年3月期第2四半期	67.49		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,914	6,518	65.8
28年3月期	9,546	6,431	67.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,518百万円 28年3月期 6,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	55.00	55.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,980	1.7	1,389	18.8	1,394	18.3	919	17.2	153.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期2Q	6,008,300株	28年3月期	6,008,300株
29年3月期2Q	27株	28年3月期	27株
29年3月期2Q	6,008,273株	28年3月期2Q	6,008,291株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとした新興国経済の減速や英国のEU離脱問題による株式市場の伸び悩み、円高の進行などの影響もあり、企業の景況感や個人消費は力強さを欠く状況で推移いたしました。

国内食品業界におきましても、消費者の根強い節約志向による個人消費の伸び悩み等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社は、ユーザー直接販売の新規取引先開拓や円高の進行による原価の低減、新商品の積極的な販売など、収益力の向上に取り組んでまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、新魚種の導入やPB商品販売を強化しましたが主要な販売先の購買方針変更による売上減により売上高6,327,276千円(前年同期比5.5%減)、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売好調により売上高1,475,280千円(前年同期比4.4%増)、その他事業におきましては、ガーリックシュリンプなどの販売が好調に推移したことにより売上高6,017,770千円(前年同期比1.6%増)となりました。これにより当期の売上高は13,820,326千円(前年同期比1.5%減)となりました。

損益面につきましては、株主優待費用の増加があったものの、原価の低減や保管料等の経費削減に取り組んだことにより、営業利益は611,807千円(前年同期比1.1%増)、経常利益は616,043千円(前年同期比1.0%増)、四半期純利益は417,531千円(前年同期比3.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、9,914,269千円となり、前事業年度末と比較して367,372千円増加となりました。これは主に現金及び預金が257,513千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が485,707千円、流動資産のその他に含まれる短期貸付金が110,000千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、3,395,327千円となり、前事業年度末と比較して279,841千円増加となりました。これは主に流動負債のその他に含まれる未払金が207,389千円減少した一方で、買掛金が363,336千円、未払法人税等が71,851千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、6,518,942千円となり、前事業年度末と比較して87,530千円増加となりました。これは主に配当金の支払を330,455千円行った一方で、四半期純利益を417,531千円計上したことにより利益剰余金が87,076千円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前会計年度末に比べて257,513千円減少して1,604,752千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、175,563千円の収入(前年同期は211,742千円の収入)で、主な収入要因は税引前四半期純利益628,877千円、仕入債務の増加額363,336千円であります。一方、主な支出要因は売上債権の増加額485,707千円、棚卸資産の増加額72,420千円及び法人税等の支払額134,809千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、93,171千円の支出(前年同期は71,574千円の支出)で、支出の主なものは貸付による支出240,000千円であります。一方、収入の主なものは貸付金の回収による収入130,000千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、338,248千円の支出(前年同期は338,297千円の支出)で、支出の主なものは配当金の支払額330,455千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の将来予想につきましては、平成28年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,862,266	1,604,752
受取手形及び売掛金	4,458,857	4,944,564
商品	1,916,426	1,987,058
その他	218,031	323,592
貸倒引当金	△874	△494
流動資産合計	8,454,708	8,859,474
固定資産		
有形固定資産	711,716	696,719
無形固定資産	173,893	155,163
投資その他の資産		
その他	213,888	210,223
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	206,578	202,913
固定資産合計	1,092,188	1,054,795
資産合計	9,546,897	9,914,269
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,946,200	2,309,536
未払法人税等	138,597	210,448
賞与引当金	27,370	27,291
その他	638,041	495,334
流動負債合計	2,750,210	3,042,610
固定負債		
退職給付引当金	212,515	205,734
その他	152,759	146,982
固定負債合計	365,275	352,716
負債合計	3,115,485	3,395,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	3,833,072	3,920,149
自己株式	△47	△47
株主資本合計	6,429,802	6,516,878
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,609	2,063
評価・換算差額等合計	1,609	2,063
純資産合計	6,431,411	6,518,942
負債純資産合計	9,546,897	9,914,269

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,029,084	13,820,326
売上原価	11,850,335	11,602,687
売上総利益	2,178,749	2,217,639
販売費及び一般管理費	1,573,781	1,605,831
営業利益	604,967	611,807
営業外収益		
受取賃貸料	4,488	4,488
その他	2,876	2,806
営業外収益合計	7,364	7,294
営業外費用		
賃貸収入原価	1,086	1,050
その他	1,366	2,008
営業外費用合計	2,452	3,058
経常利益	609,880	616,043
特別利益		
投資有価証券売却益	6,202	12,833
特別利益合計	6,202	12,833
特別損失		
投資有価証券売却損	152	-
特別損失合計	152	-
税引前四半期純利益	615,930	628,877
法人税等	210,435	211,345
四半期純利益	405,494	417,531

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	615,930	628,877
減価償却費	15,258	33,727
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△221	△380
受取利息及び受取配当金	△1,004	△746
賞与引当金の増減額(△は減少)	△201	△79
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,313	△6,781
売上債権の増減額(△は増加)	△322,326	△485,707
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,340	△72,420
仕入債務の増減額(△は減少)	217,078	363,336
その他	△72,065	△150,199
小計	491,101	309,625
利息及び配当金の受取額	1,004	746
法人税等の支払額	△280,364	△134,809
営業活動によるキャッシュ・フロー	211,742	175,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,000	-
無形固定資産の取得による支出	△488	-
投資有価証券の取得による支出	△502	△424
投資有価証券の売却による収入	15,884	14,000
貸付けによる支出	△200,000	△240,000
貸付金の回収による収入	132,000	130,000
その他	531	3,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,574	△93,171
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7,793	△7,793
自己株式の取得による支出	△47	-
配当金の支払額	△330,456	△330,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338,297	△338,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△1,656
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△198,160	△257,513
現金及び現金同等物の期首残高	1,867,759	1,862,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,669,598	1,604,752

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、業務用冷凍食品卸売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。